

Melatoninの不妊治療における効果

Melatoninの服用量と副作用

1日1カプセル※（3mg）を就寝の30分～1時間前に服用してください。 ※服用量は医師の指示に従ってください。Melatoninは副作用が少なく安全なホルモンといわれていますが、過剰摂取は頭痛などをもたらす可能性があります。

日常生活における注意点

夜型の生活や睡眠不足はMelatonin減少の要因となります。普段から規則正しい生活を心がけるようにしてください。また、コーヒー・紅茶・緑茶に含まれるカフェインや、喫煙、お酒、ストレスもMelatonin抑制の要因となります。

Melatoninは脳の松果体から分泌され、睡眠や時差ボケなど生体リズムに深く関わる中枢神経ホルモンです。優れた抗酸化作用があることが知られており、不妊治療や癌治療など様々な分野で注目されています。

Melatoninの効果

採卵前の卵胞発育の環境（特に卵胞液中の活性酸素の量やその酸化ストレスに対する抗酸化力）が受精や初期胚の成長に影響を及ぼすことが報告されています。また子宮内膜症は酸化ストレスを高める可能性があります。

Melatoninの抗酸化作用が卵胞液中の酸化ストレス濃度を低下させ、より質の良い卵を作る効果が期待できます。

胚質不良例に対するメラトニンの有効性に関する検討

体外受精を実施し胚質不良と判定された61周期61症例（平均年齢39歳）の患者を対象に、メラトニン3mgを採卵周期1日目より採卵前日まで連日投与し、メラトニン投与前と投与後の周期の採卵数、卵成熟率、受精率、分割期移植可能胚率、良好胚盤胞率を比較した。

結果、メラトニン投与後の周期で採卵数が少なかったものの、移植可能胚率、胚盤胞到達率が上昇し結果として胚利用率が上昇した。メラトニンの内服により卵子の酸化ストレスを減少させ卵子の質の改善する事で、胚質不良により胚移植、または妊娠に至らなかった症例に対して有効である。

2011年の受精着床学会 IVFなんばクリニック発表（演題番号P36）

The efficacy of melatonin administration on oocyte quality.

IVF胚移植(ET)治療を受ける85人の女性において、メラトニンを服用した40人と服用してない45人として(MII卵母細胞)成熟卵母細胞の数を比較したところ、メラトニンを服用したグループでは成熟卵母細胞数が有意に高かった。

Gynecol Endocrinol. 2011 Jul 20.

メラトニンの抗酸化作用で体外受精における受精率、妊娠率が上昇

前回の体外受精が不成功に終わり受精率が50%未満であった女性に対し、一方のグループ56名には採卵前周期の月経5日目から採卵日の前日まで3mg/日のメラトニンを摂取してもらい、もう一方のグループ59名にはメラトニンは摂取せず前回の体外受精と比べて変性卵率や受精率、妊娠率を比較した。

結果、メラトニンを摂取したグループでは前回の体外受精周期と比べて変性卵率は低下し受精率が上昇、19.6%の妊娠率であったのに対し、メラトニンを摂取しなかったグループでは受精率の改善は見られず妊娠率が10.2%であった。

日産婦誌60巻9号 山口大学 発表

Pure Encapsulations社は、
全米医療用ベストサプリメント賞受賞



- ・原料からこだわった最高品質のサプリメント
- ・添加物や防腐剤等を含まない、安全で低刺激な製品